

～ハケ岳歩こう会創立20周年記念～  
**甲州街道ウォーク**  
**コースマップ**

**第1回 日本橋～下高井戸宿**  
**2018年3月28日(水)**

- ・距離 約16km
- ・解散 下高井戸駅 16:00頃
- ・担当者 田中憲一(090-8592-1379)  
 重田友五郎(090-3687-9343)  
 和田宏(080-1118-9070)  
 田中哲夫(090-4927-5044)

- ・次回開催 第2回 下高井戸宿～府中宿
- ・2018年4月25日(水)
- ・距離 約18km
- ・集合 下高井戸駅(午前9時30分)

**【桜田門】**

桜田門は寛永13年(1636年)に修築され、大正12年の関東大震災で破損、その際に鉄鋼土蔵造りに改修された。この楕形は15間×21間あり、現存している城門の中では最も広い規模を有し、保存状態も良い。

**【井伊掃部頭邸跡】** (いかもんのかみていあと)

国会前の庭園一帯は、江戸時代初期には肥後熊本藩主加藤清正の屋敷だった。加藤家は二代忠広の時に改易され屋敷も没収された。その後近江彦根藩主井伊家が屋敷を拝領し、上屋敷として明治維新まで利用している。石垣のもとに「桜が井」があり保存。

**【半蔵御門】**

古くは麴町門といったが、伊賀忍者で組織した伊賀組の組頭 服部半蔵の組屋敷があったことから付いた名前。第二次世界大戦で焼失、現在建っている高麗門は和田蔵門から移築したもの。この門から伸びるのが甲州街道で江戸落城の折に将軍が甲府へ避難する道と考えられていた。

裏面に続く・・・



#### 【新宿御苑】

徳川家康の関東に移封された慶長14年（1590年）に江戸に先陣で入り甲州街道と鎌倉街道の交差付近に陣を築いて鉄砲隊を率いて守りを固めた、その功により四谷から代々木にかけて20万坪の広い屋敷地を賜った。それゆえ内藤新宿と呼ばれている。内藤家は鎌倉時代からこの武士でこの家は三河内藤家といわれています。高遠藩内藤家は清成から7代の内藤清枚（キヨカズ）が初代藩主です。維新後の明治5年（1872年）には官営農業試験場になり明治12年に宮内省に移管され新宿植物御苑になりました。日本庭園の池は内藤家が安永元年（1772年）に玉川上水の水を利用して完成したものです。戦後は昭和24年に国民公園として一般に開放され厚生省の所管となりました。昭和46年に全国の国立公園などを所管する環境庁の所管に移りました。

#### 【牛窪地蔵】

この辺りは湿地帯で雨乞いの場所であった。また、ここには刑場があり極悪人が牛裂きの刑に処せられたので「牛窪」という名がつけられた。牛窪地蔵は悪疫が流行したので子供の安泰を祈願し、正徳元年（1711年）に建立された。ここには地蔵のほかが文化3年に建てられた道供養塔や康申塔がある。この「道供養塔」は道路自体を供養して、報恩感謝の念を捧げ、交通安全を祈る全国でも珍しいものである。

#### 【笹塚跡】

笹塚の地名は、甲州街道の両側に笹の繁った塚があったことが由来する。慶長9年（1604年）に大久保長安によって設置され、天保14年（1843年）の「村差出明細帳」には「一里塚村内字笹塚と申所往来左右に御座候」とあり、一里塚という説もある。

#### 【和田堀廟所】

大正12年の関東大震災で築地本願寺が全焼し再建にあたって多数の墓地を移転する必要から陸軍省の火薬庫跡地の約1万1千坪を払い下げて貫い昭和4年に墓地をここに移転し仮本堂が和田堀廟所として設立されました。瓦葺きの木造作りの本堂も昭和20年5月25日の大空襲で焼失し昭和29年にインド仏教式の新本堂が再建されました。樋口一葉 水谷八重子 古賀政男 佐藤栄作 内田吐夢等のお墓があります。